

JAきたみらい

おひさま サタダ

2022



vol.234

7

はいっポーズ!

《相内地区・豊田》

矢田目^{ゆうや}裕弥さんと歩^{あゆと}翔くん・^{みおな}滯奈ちゃん・

^{ゆな}結奈ちゃん・^{るあ}琉愛くん
(紹介は2ページです)

特集

新規就農者激励状授与式と
北見地区新規就農者交流研修会



栄養満点の 一番牧草収穫最盛



きたみらい管内で6月下旬、一番
牧草の刈取り作業が最盛期を迎えて
います。今年度は早い所で6月上旬
から一番牧草の収穫作業が始まりま
した。

一番牧草を約60％収穫する予定の野里さんは「収穫作業は昨年度と同じ時期に開始できたものの、その後不安定な天候が続き刈取りができなかった。今後の天候が回復し、最後まで刈取りができることを願っている」と話してくれました。

今年度の当JAの計画面積は約4,000haとなっています。

表紙紹介

お互いを気にかけて助け合う4人の子どもたち

30度超えの晴天となった6月26日、矢田自家を訪ねた！

走る事が得意な長男の歩翔くん。体育の授業ではシャトルランが好きて、運動会の徒競走でも1位になるほど瞬足です☆お家でバナナをむく係に任命されている歩翔くんは、来年の家庭科の授業に向けて芋を切るなど修行をしています。将来は太王さんになりたいと教えてくれました。

早起きが得意な長女の澤奈ちゃん。休日は朝方に起きることもあり、「もう少し寝てほしいなあ……(笑)」とお母さんの囁きには言いますが、「……」とおひつくなで元気をもらいました。

とスチャップくんは長い坂道ですが「たのしいよ！」とスチャップくんは元気な声を出していました。

4月からは幼稚園に通い始め、園庭の遊具で遊ぶのが大好きなよう、給食も完食する立派な年少さん。取材中はお父さんの裕弥さんにくっつきお父さん子な一面も♡

とっても甘えん坊なまっ子の琉愛くん。お兄ちゃんとお姉ちゃんをよく観察している琉愛くんは、何とも覺えるのが早い！大体の事は自分でこなすので、日々出来る事を更新中です。

お兄気を気にかけて遊んであげ合う4人に向けてこの両親は「自分の好きなように生きて、思いやりのある子に育ってほしい」とメッセージを送りました。



もくじ CONTENTS

特集	4
新規就農者激励状授与式と 北見地区新規就農者交流研修会	
○季節の薫り	2
○表紙紹介 「お互いを気にかけて 助け合う4人の子どもたち」	2
○JAトピックス	6
○ほのぼの広場 ・プリティウーマン ・なかよし夫婦	8
○みらいプロジェクトチャンネル	9
○JAからのお知らせ	10
○おひさまサラダクッキング 「タケノコの香草焼き」 「マコモタケとカキの もろみそ焼き」	18

新規就農者に激励状を授与

きたみらい管内に20人が就農

第一次産業の農業を「自分の職場」として、高校・大学などを卒業して就農された方、あるいは他産業に従事し、第二の職場としてUターンされた方、いずれも農業への情熱は同じです。農業に意欲を持って取り組む方に、毎年、JAグループ北海道五連から激励状が贈られます。本年の激励状授与式と北見地区新規就農者交流研修会が、6月29日に行われました。

北海道の農業・農村を担う一員として、新しく農業に意欲を持って取り組む方に毎年、JAグループ北海道五連（中央会・ホクレン・北信連・共済連・厚生連）会長連名の激励状と記念品を贈呈しています。



▲激励状を受け取る村上陽さん（留辺蘂地区）

当JAでは新規学卒者で10人、Uターンで6人、新規参入で1人など、計20人に授与されました。激励状授与式は、6月29日にJAきたみらいセンター事務所で行われ、15人が出席しました。齊藤専務はJAグループ北海道五連の使命と事業内容を説明した後、同じ農業人になる仲間たちへ激励の言葉を贈りました。その後、一人ひとりに声を掛けて激励状を手渡すと、新規就農者のみなさんは真剣な面持ちで受け取っていました。



▲激励の言葉を贈る齊藤専務



▲授与式に出席した15人の就農者とJAきたみらいの役員

仲間や地域との繋がりを大切に

新規就農者交流研修会で金一善紀氏講演

オホーツク管内の北見市、訓子府町、置戸町の就農3年目までの若手農業者を対象にした北見地区新規就農者交流研修会が6月29日にJAきたみらいセンター事務所で行われ、17人が参加しました。

1市2町とJAきたみらいなどで構成している北見地区農業振興連絡協議会の主催で、農業の知識研鑽及び情報交換などを図ることを目的として開催されました。

講師はオホーツク農協青年部協議会会長の金一善紀氏で「新規就農者に期待すること」と題して講演しました。金一氏は、建築関係のメーカーからUターン就農し、現在は津別町の畑作法人「木樋桃源ファーム」で営農の傍ら、オホーツク農協青年部協議会の会長として活動しています。金一氏は自身の経験や経歴を交えながら、機械やスマート農

業技術の導入など農業経営における事例を紹介し、農業の魅力や役割について話しました。また、青年部活動などを通じた周囲との関わりや、営農の課題解決や改善の大切さについても話し、最後に新規就農者に期待することとして「楽しく仕事をし、アクションを起こして見聞や人とのかわりを深め、地域を担うリーダーになってほしい」と参加者へエールを送りました。



▲新規就農者へエールを送る金一氏



▲講師の言葉を真剣に聴く参加者の皆さん



▲講演の様子



▲金一氏（前列中央）を囲んで記念撮影



J A トピックス

5月 女性部

パーソナルカラーで顔も気持ちも明るく

～JAきたみらいフレッシュユミズ西支部～

JAきたみらいフレッシュユミズ西支部は6月14日、留辺蘂地区事務所で開催された研修会に、会員14人と研修生として未加入者4人が参加しました。講師にカラーアドバイザーの京谷志穂氏を招き、パーソナルカラーについて学習しました。

パーソナルカラーとはその人の肌や瞳の色から、顔の発色を良くしたり、プラスの印象をもたらすための「自分に似合う色」のことをいいます。今回の研修は、その色をファッションやメイクに取り入れ、日々の生活に活かすことを目的として行われました。まずは



▲瞳の色を見てもらう参加者



▲ドレープを当てている様子

8つのチェック項目に回答し、自己診断を実施。続けて代表者1人に、講師が実際にドレープと呼ばれる色のついた布を身体に当てながら診断を行いました。同じ系統の色でも、明るさや色味によって印象が変わります。最後に、診断で出た色を使ってメイクをすると、普段とは違った印象になり、参加者たちからは「その色のメイクの方が明るく可愛らしく見えるよ!」と感心の声があがっていました。コロナ禍で開催出来なかった本研修は2年ぶりの開催となり、生き生きとした参加者たちの表情がとても印象的でした。

抜群の甘さ!北見メロン 収穫が始まりました

2月 農業部

JAきたみらい管内では6月中旬、「北見メロン」の収穫がスタートしました。

北見地区小泉の川尻秀昭さんのハウスでは、赤肉品種「ルピアレッド」を約23作付けしており、6月28日から収穫が始まりました。4月中旬の定植後は順調に生育、5月下旬からは低温が続いたもののハウスの温度管理などを徹底して行ったことで、糖度やネット



▲メロンの収穫を行う川尻さんご家族



の張りも上々に仕上がりました。収穫にあたって川尻さんは「この時期しか食べられない旬の味をたくさんの人に味わってもらいたい」と話してくれました。

今年度は加温・無加温合わせて約5,000ケースの出荷を見込んでおり、6月中旬から8月中旬まで、オホーツク管内のスーパーや量販店で販売される予定となっています。

12月 青年部

ホクレン肥料株式会社で座学と施設見学開催!

～JAきたみらい青年部東支部～

JAきたみらい青年部東支部は6月17日、ホクレン肥料株式会社で肥料講習会を開催しました。

講習会には同支部部員22人が参加し、肥料工場の方を講師に、施設の造粒工程の見学や肥料情勢などについて学習しました。講習会終了後は肥料情勢や製品管理についての質問や意見が挙がり活発な講習会となりました。また参加した部員たちからは「近くに肥料工場があるのに行けたことがなかった。今回参加できなかった部員に



▲施設見学の様子



▲座学研修の様子

も、次回あれば参加をオススメしたい」と話していました。昨年度までは新型コロナウイルス感染症の影響により、施設見学や大人数が集まる活動はなかなか行えない状況でした。今年度は東支部を始め、各組織でも工夫しながら視察研修や活動を行っています。

堆肥の製造方法、効用など学習

12月 青年部

～JAきたみらい青年部南支部～

JAきたみらい青年部南支部は6月30日、置戸町堆肥供給センターで堆肥の学習会を開き、部員15人が参加しました。

当JAの職員が講師を務め、同センターの特徴や堆肥の製造工程について学び、腐熟中の堆肥を攪拌する「切り返し」作業の見学を行いました。その後は堆肥の効用や緑肥との違いなどを学習し、最後に部員が持ち寄った堆肥の電気



▲堆肥の切り返し作業見学の様子



▲EC測定結果の解説を聴く様子

伝導度(EC)の測定を通して、それぞれの堆肥の腐熟度合いの比較などを行いました。また、部員からは多数の質問が挙がり、有意義な学習の場となりました。同支部の梶浦貴志支部長は「近年続く異常気象や肥料高騰への対策として、学んだことを活かして効果的な堆肥施用をしていきたい」と話しました。

みらいプロジェクトチャンネル

絆が生まれる場所を作る

vol.15

北海道大学大学院農学研究院 小林 国三

コロナ禍は続いています。少しずつウィズコロナとしてコロナ禍での新しい日常の姿が見えてきているように感じます。特にそれを感じるの、これまで中断されてきた「懇親会」に久しぶりに参加した時です。人と会い、会話をすることの大切さを改めて実感している人も多いのではないのでしょうか。

何気ない普段の暮らしの中で、人々がつながっていることが、実は何か起きた時に大きな助けになるということがあります。先日読んだ本（エリック・クリネンバーグ『集まる場所が必要だ』）には、アメリカシカゴでの1990年代から2000年代にかけてたびたび起きた熱波による被害のことが書いてありました。1995年7月に起きた熱波では485例の熱波による関連死が報告されました。その要因を解析した疫学調査では、結果として危険因子は「高齢」と「自己管理不能」であるとされました。そのことを受けて、高齢者や子どもなどの重症化リスクの高い人は飲酒や暑い時期の野外活動などを避けるように、という指導がなされたということです。

また、熱中症による死亡率の違いにはいくつかの傾向がありました。男性は女性よりも高い、中南米系住民は低い、アフリカ系アメリカ人が大多数を占め、貧困と暴力犯罪が蔓延している地区は高いなどです。犯罪率が高く、貧困率も高い地域では人々は家にこもりがちとなり、経済的余裕もないためクーラーを買うことが出来ません。そのため死亡率が高くなったという説明には納得がいきます。ですが、同じような隣り合う2つの地区で、1つは死亡率が高いが、隣の地区は高級住宅地の地区と同じくらい低い死亡率だったという結果が判明しました。そしてその2つの地区の違いを分けたのが、人々のつながりだったのです。暑い日、寒い日に日常的に「声を掛け合うことが当たり前だった」この地区。一体、隣の地区と何が違ったのでしょうか。「つながりがある」「なし」がなぜ生まれたのでしょうか。

その答えとして著者が指摘しているのが「社会的インフラ」と呼ぶものです。死亡率の低かった地区の住人は、日常的に歩いてレストランや公園、理髪店、食料品店に通い、町内会や協会の活動に参加していました。近隣住民は皆知り合いで、気軽に日常的な交流がなされていたのです。つまり、こうした「場所」が人々のつながりを自然と生む空間となっていたのでした。そこに集う人たちは「つながり」を作ろうとしてその場所に通っていたわけではありません。そこに行く必要がある、またはそこに行けば楽しい、という能動的な活動の結果として、つながりが生まれました。本の中では「社会的インフラは決定的に重要なものだ。ローカルな対面交流（学校や

プレイグラウンドや地元のレストランなど）は、社会的な生活の基本になる。健全な社会的インフラがある場所では、人間どうしの絆が生まれる。それは当事者たちがコミュニティをつくらうと思うからではなく、継続的かつ反復的に交流すると（とくに自分が楽しいと思う活動のために）、自然に人間関係が育つからだ」とあります。

ウィズコロナの時代に、農村においてどのような「社会的インフラ」を維持、創造していく必要があるのか。考えてみる必要があると感じました。



ほのぼのの 広場

プリティ ウーマン



「人との出会いを大切に！」

端野地区・川向
むつみ
川島 睦美さん(61歳)

今回は女性部の川島部長に登場いただきました。

◆出身、結婚に至るまでは？

出身は端野町で、結婚前までは保育士として働いていました。夫とは青年団のコーラスクラブで出会い、ぐいぐいと引っ張ってくれる男らしさに惹かれました。好きになった人の職業がたまたま農家でしたが、農家に嫁ぐことに抵抗はありませんでした！結婚後も様々な経験をさせてもらい、この道を選んでよかったと思っています。

◆ご自身はどんな性格だと思いますか？

勝気で短気な性格です！とにかく抑えています。が…（笑）でも勝気だからこそ仕事を頑張っているのかもしれない。あととにかく好奇心旺盛！人との出会いを大切にしているのいろいろな集まりに行くのが大好きです。そして明るく過ごすことを心がけています。自分も周りも楽しくなるのが一番です☆

◆趣味は？

料理や裁縫が好きです。料理、裁縫が得意な母に習い、今はテレビや人から教わったレシピをアレンジしながらレシピ集にまとめています。配合から試行錯誤した生食パンやお菓子、乾燥野菜、地域の仲間と混ぜご飯の具を作ったり幅広くチャレンジしています！裁縫は娘がどハマリ中なので娘の方がたくさんやっているかもしれません（笑）

◆組織活動の魅力は？

一番の魅力は、「出会い」。たくさんの人に出会え、次に会った時にフレンドリーに話しかけてもらえるのでとても嬉しいです。集まりに参加する人たちは前向きな話ができる人が多いのでとても楽しい時間を過ごせます。役員になってからはさらに輪が広がりましたよ！これからも女性部活動を通してたくさんの人と交流できるのを楽しみにしています。

Qお付き合いから結婚に至るまで

共通の友人の紹介で知り合って付き合うことになり、約2年の交際を経て結婚に至りました。

Qお二人の趣味は？

涼太さん…ドラムとゲームです。
知香さん…愛猫を可愛がることとゲームです。

Qこれからしたいことは？

涼太さん…家族全員でフェスに行きたいです。
知香さん…家族旅行でUSJに行きたいです。

Qお互い好きなところは？

涼太さん…仕事も家事も丁寧に一生懸命やってくれるところ。
知香さん…芯がしっかりあって、落ち着いていて冷静で頼れるところ。

Qお互いへの感謝の言葉

涼太さん…これからも体に気をつけて頑張ろう。いつもありがとう。
知香さん…仕事に家事にいつもありがとう。これからも無理なく楽しんでいきましょう。

※写真は今年4月に生まれた愛猫「はるちゃん」も一緒に！



ながよし夫婦

はるちゃんが 家族の中心

北見地区・大正

萩 原 涼 太さん(37歳)
知 香 さん(37歳)

農作業安全の 取り組みについてご紹介

毎年、当JAでは多くの農作業事故が発生しています。例年、収穫時期に農作業事故が頻発する傾向にあるため、今後農作業事故を一件でも減らせるよう農作業安全の取り組みを行いましたので紹介致します。

農作業事故ゼロに向けて学習会

～JAきたみらい青年部～

JAきたみらい青年部は6月23日、センター事務所で開催した。当JAでは昨年の農作業事故が89件、部員自身が負傷する事故も発生しているため、青年部でも学習会を通じて今一度事故に対する知識と意識を持ち、農作業事故ゼロに向けた取り組みをしています。

学習会はホクレン北見支所から講師を招き、事故を起こさないための対策や、実際に大けがにつながった事例などを学び、部員間での情報共有も行いました。

当JA青年部の貝沼隼人部長は「焦って作業をして事故を起こすとかえって時間を浪費してしまい、最悪の場合取り返しのないこと」



▲学習会の様子

経営主向け 農作業安全講習会

6月30日、センター事務所で開催した。16人（Web参加含む）が参加しました。

当JAでは毎年多くの農作業事故が発生している現状を踏まえ、この講習会を通して今一度、各経営体で安全意識を高めてもらうことを目的に開催しました。

講習会では「経営者として安全な農作業環境を考える」と題し、豊川労働安全コンサルタント事務所の豊川所長から農作業の安全管理について、労働災害の発生し大きな損害といたった労働災害が事業者にもたらす責任など、労働安全衛生法に基づいて伝えられました。「ヒヤリハットで事故を回避できたと安心せず、事故が起きたという認識を忘れないでほ



▲講習会の様子

女性農業者研修会

6月28日、訓子府町で女性農業者研修会を開催し、管内の女性農業者11人が参加しました。

今回の研修会は、トラクターのオペレーターを目指すなど、これから農作業に意欲的に取り組む女性農業者を応援するため、農業基礎や農作業安全の知識を習得してもらうことを目的に開催しました。

午前は、ホクレン訓子府実証農場の講堂で、オホーツク管内で意欲的に農作業に取り組む女性農業者の紹介、「女性が活躍する農作業現場について」と題してグループワーク、



▲グループワークを行う参加者

農作業安全講習会を実施。午後は、2グループに分かれて、自動操舵トラクターの体験試乗や農薬散布用ドローンの実演、JA共済連のVR動画を用いた農作業事故の仮想体験をした他、農作業事故防止に向けたポテトプランターを装着した実機のトラクターを見学しました。

参加者は「実際にトラクターで作業している方の話を聞けていろいろなこと気づくきっかけとなった。農業は安全な作業が第一だと思うので、改めて家族と話し合ってみようと思った」と感想を話しました。



▲作業機を装着したトラクターの危険箇所を確認する参加者

「安全な農作業に向けて」冊子を作成

当JAでは労働事故受付件数が毎年約80件発生しており、軽症で済むものから切断など重症を負ってしまうほどの大事故も発生しています。

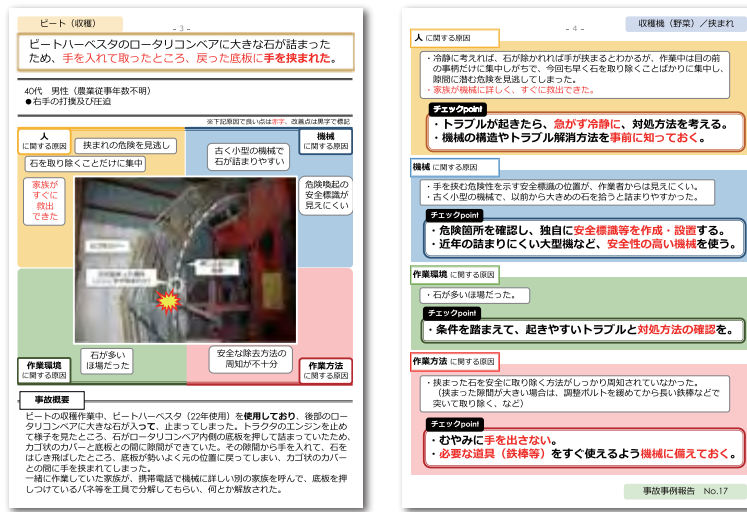
今回作成した冊子は、農研機構が農作業の安全性や

事故防止対策の情報提供を目的に運営している「事故事例検索システム」に掲載された、実際に発生している農作業事故をさらにわかりやすく紹介したものにしています。ぜひ、本冊子を各経営体で活用して頂き、

家族や従業員への注意喚起、情報共有を行って「農作業事故ゼロ」に取り組みしましょう。冊子については、ホームページ上の組合員専用ページに掲載している他、各地区事務所においてありますのでご覧ください。



▲稲・畑作Ver. と酪農Ver. それぞれの表紙



▲稲・畑作Ver. の一部抜粋

INFORMATION

「基本チェックリスト」について ①

先月号では事業対象者に該当するかを知るために、厚生労働省作成の「基本チェックリスト」を活用すると紹介しました。近い将来の介護リスクになるような衰えが無いかが評価ができるので回答欄のはい、いいえの前にある数字（0 または 1）の合計を得点欄に記入してみましょう。

基本チェックリスト 全 25 問中（1～5）

1	バスや電車で1人で外出していますか	O. はい	1. いいえ	点 (1の数)
2	日用品の買い物をしていますか	O. はい	1. いいえ	
3	預貯金の出し入れをしていますか	O. はい	1. いいえ	
4	友人の家を訪ねていますか	O. はい	1. いいえ	
5	家族や友人の相談にのっていますか	O. はい	1. いいえ	

上記の質問の趣旨は以下の通りです。

- 1

家族等の付き添いなしで、1人でバスや電車を利用して外出しているかどうかを尋ねています。バスや電車のないところでは、それに準じた公共交通機関に置き換えて回答してください。
1人で自家用車を運転して外出している場合も含まれます。


- 2

自ら外出し、何らかの日用品の買い物を適切に行っているかどうか（例えば、必要な物品を購入しているか）を尋ねています。
頻度は、本人の判断に基づき回答してください。
電話での注文のみで済ませている場合は「いいえ」となります。


- 3

自ら預貯金の出し入れをしているかどうかを尋ねています。銀行等での窓口手続きも含め、本人の判断により金銭管理を行っている場合に「はい」とします。家族等に依頼して、預貯金の出し入れをしている場合は「いいえ」となります。


- 4

友人の家を訪ねているかどうかを尋ねています。
電話による交流や家族・親戚の家への訪問は含みません。


- 5

家族や友人の相談にのっているかどうかを尋ねています。
面談せずに電話のみで相談に応じている場合も「はい」とします。



5つの質問に対して「合計点」が高いほど、機能低下の可能性あります。
今月号から質問をいくつかの項目に分けて紹介していきます。チェックを付けて自身の心身の状態や介護リスクの有無を知りましょう。

お問い合わせ：担い手グループ TEL:24-2145（榎本・辻本）

★ 2期生が来北！外国人技能実習生紹介

6月15日付で営農振興部担い手グループに配属されたベトナム人技能実習生3人をご紹介します。



チャントウイちゃんさん
2000年10月1日生まれ 21歳



レティフィンヌーさん
2000年7月22日生まれ 21歳



グエンゴックタオヴィさん
2002年6月24日生まれ 20歳



熱中症対策グッズを作製

夏の農作業に向けて、組合員さん考案のペットボトルケースを作りました。凍らせた飲み物を入れて使用する予定です。

🎯 KiT CURLING CLUB 活動報告 🎯



▲▼試合中の様子 (C) JCA IDE



私はKiT C. C. に所属しながら、JAきたみらいで働いている臼井慎吾（営農振興部担い手G）です。
私たちは2022年5月20日、北見市常呂町にて行われた「第39回日本カーリング選手権大会ワイルドカード枠決定戦」に出場し、「チーム岩手」との対戦で、見事勝利することができました。この大会の結果により、5月21日より行われた「第39回全農日本カーリング選手権大会」に進むこととなりました。
日本選手権では、予選ブロック通算4勝4敗（全体4位）となり、プレーオフに進出することができました。プレーオフでは「コンサドーレ」と対戦して敗れ、4位という結果で大会を終えました。
JAきたみらいをはじめ、協賛していただいているスポンサーの方々、チームを支援していただいている地域の方々に支えられ、チームとして初めての日本選手権に出場することができました。これからも次のステージに向けて、精進していきたいと思いますので、応援よろしくお願いします！

第5回 理事会報告

6月28日、午前9時00分より第5回定例理事会が開催され、報告事項16件、決議事項7件が協議され、原案通り承認されました。

【報告事項】

①組合員状況報告について

②財務状況報告について

③道連の決算及び剰余金について

④JAバンク基本方針に基づく体制整備モニタリング報告について

⑤JAバンク基本方針に基づく経営状況（財務モニタリング）報告について

⑥CSRレポート2022の発行について

⑦作況調査（6月15日）報告について

⑧PCN発生に係る対応経過について

⑨きたみらい農畜産物生産構造ビジョンに係る組合員対応について

⑩令和4年産なまぐさ黒穂病の対応について

⑪生乳生産状況及び個体取引価格状況について

⑫第19回JAきたみらい乳牛共進会について

⑬R3年度燃料事業正組合員向け利用促進奨励施策実施報告について

⑭夏期地区別懇談会実施日程の変更について

⑮令和4年6月18日～20日降雹・集中豪雨被害報告について

⑯降雹・集中豪雨被害による購買部門の対応について

【決議事項】

①固定資産の取得について

②規程類の改正について

③JAコントラクター事業の請負料金単価改定について

④R4年肥料事業推進方針について

⑤理事に対する資金の貸付について

⑥R4年夏期地区別懇談会提出資料について

⑦R4年農産・青果物取扱要領の設定について

大量硬貨入金手数料の設定について(お知らせ)

平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当組合は令和4年8月1日より下記の通り、金融窓口にて硬貨入金の際の手数料を設定させていただきます。

組合員・利用者の皆様にはご不便をお掛けいたしますが、ご理解とご協力を賜ります様お願い申し上げます。

手数料額

区分	手数料
1～300枚	無料
301～1,000枚	330円
1,001～2,000枚	550円
2,001枚以上	770円（1,000枚毎に220円加算）

※同時に複数回入金される場合は枚数を合計します。

設定開始日 **令和4年8月1日**

新登場！
農業者賠償責任共済

農地や農業施設の所有・使用・管理や農作業に起因する損害賠償責任への保障をお考えの方におすすめします！

農業者賠償共済はこんな時にお役に立ちます

～農作業中における損害賠償事例～

事例①

畑で農薬を散布していたところ、薬剤が風にあおられて、隣の農家の畑に飛散し、生育不良となった。（ドリフト）

損害賠償額 約510万円

事例②

肥育している牛が敷地外へ脱走し、走行中の車両と接触、車両に損害を与えた。

損害賠償額 約70万円

事例③

草刈りの作業中に巻き上げた小石が付近を走行していた車に当たり、破損させてしまった。

損害賠償額 約50万円

※お支払いには所定の条件があります。 ※損害賠償額はJAグループ調べ

農業者賠償責任共済の3つの特長

安心

幅広い賠償責任をカバー

多くの農業者共通の4つのリスクに対して1つの共済で総合保障。

施設賠償リスク	生産物賠償リスク
保管物賠償リスク	生産物回収費用リスク

シンプル

わかりやすい共済掛金設定

基準となるのは農地面積とご希望の支払い限度額のみ。
3つのプランをご用意しています。

3,000万円コース
5,000万円コース
1億円コース

簡単

自動継続で手間いらず

1年で自動継続するため、面倒な継続手続き等は不要（農地面積に変更がある場合等除く）。

ご契約 → 1年後 → 2年後

自動継続 自動継続

〇共済掛金例：共済期間1年

(2022年4月現在)

農地面積	支払限度額		
	3,000万円コース	5,000万円コース	1億円コース
0.5ha未満	5,760円	6,500円	8,050円
0.5ha以上 1ha未満	6,950円	7,850円	9,720円
1ha以上 2ha未満	8,390円	9,470円	11,730円
2ha以上 4ha未満	10,120円	11,430円	14,150円
4ha以上 20ha未満	18,610円	21,010円	26,010円
20ha以上 50ha未満	48,280円	54,520円	67,490円
50ha以上 100ha未満	75,210円	84,920円	105,130円
100ha以上 200ha未満	92,830円	104,810円	129,770円
200ha以上 300ha未満	105,820円	119,470円	147,910円
300ha以上 400ha未満	114,360円	129,120円	159,860円
400ha以上 500ha未満	120,760円	136,340円	168,810円
500ha以上（以降100haあたり）	+3,690円	+4,170円	+5,160円

POINT！

共済掛金は必要経費として計上することができます。

※法人は損金算入可能

農業者を取り巻くリスクは身近に存在しており、農地や農業施設の所有・使用・管理、農作業に起因する損害賠償事故が多く発生しているため、農業者賠償責任共済（ファーマスト）のご加入をご検討ください。

お問い合わせは **JAきたみらい 共済課**

※この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書（契約概要）」を必ずご覧ください。また、ご契約の際には「重要事項説明書（注意喚起情報）」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

【22019990059】

夏の新車フェア

2022 6.1→8.31

ご契約分まで

トヨタ・スズキ・スバル・三菱が対象！

乗用車をご成約でもれなくプレゼント！

30,000円相当

GOOD!

軽トラック・軽バンをご成約の方には

30,000円相当

組合員のみなさまへ

JAグループ限定 自動車お得情報

CARRY 特選車シリーズ

【期間限定ワンプライス】Safety Support

金太郎ダンプ・頑丈ダンプ

令和4年6月1日～8月31日受注分まで

ススキヤリ 金太郎ダンプ75MT 4WD

きたみらい 特別価格！

132.5万円（税込）

お問合せ先

JAきたみらい 車輛整備工場

訓子府町大町158番地

TEL：0157-47-4820

FAX：0157-47-3411

乗用～車検 貨物・特殊 自動車修理 新旧トラクター

15

14

まちがいさがし

Bのイラストには、Aのイラストと違う部分が5カ所あります。
間違っている部分を右下のイラストの中の数字でお答え下さい。

A



B

出題・イラスト：酒井栄子



6月号まちがいさがしの当選者

6月号のまちがいさがしの答えは「1、5、7、10、12」でした。正解者29名の中から抽選の結果、当選者は次の方々です。

- ()内は地区名
- ・斉藤 義博さま (訓子府) ・竹村 咲希さま (訓子府)
 - ・岡崎 丞さま (訓子府) ・山本 純子さま (上常呂)
 - ・黒須 来春さま (北 見) ・菅野恋々路さま (相 内)

以上の方々には、JAきたみらいの「芳醇 玉葱 醤油」と「玉ねぎうま塩」をプレゼント致します。



応募方法

答えが解った人は、別紙の応募用紙に答え(番号)と広報誌へのご意見・ご感想を記入してFAXでご応募下さい。

抽選で6名の方に、JAきたみらいの「玉ねぎと牛すじのカレー」と「玉ねぎとチーズが溶け込んだポークカレー」をプレゼント致します。

植 付けは順調に進んだが、雨が降らず風が吹き、畑に水分が足らず作物も必死。なんとか生き残り、気候と秋まで戦い、良い収穫を迎えられますように。

(匿名希望)

一部地域ではひょうが降ったり、大雨で用水路が氾濫した6月。あかしな天候ばかりで、落ち着いた日々が続きますね…。

も うすぐ運動会です！ダンスやリレー頑張ります！晴れるといいな～

(置戸地区 小木 日菜莉さん)

どんなダンスを踊るのかな？いっぱい練習していっぱい食べて、当日はめいっぱい楽しんでね！

読者の声

おひさまサラダをホームページで閲覧できます！

広報誌「おひさまサラダ」を当JAのホームページで紹介しています。右側にあるQRコードから閲覧できますので、ぜひご覧下さい。



桃

～繊細で上品な風格漂う夏の果実～

保存方法

追熟

まだ堅い桃は新聞紙に包んで常温で置き、柔らかくなるまで追熟させる。未熟なまま冷蔵庫に入ると、甘くならず傷んでしまうよ。

食べる2～3時間前に冷やすとおいしい！2～3日で食べ切ろう。

冷やし過ぎると味が落ちる……

冷蔵保存

一つずつ新聞紙に包んで保存袋に入れ、冷蔵庫の野菜室へ。

冷凍保存

すぐに食べ切れない場合は保存用袋に入れて冷凍庫へ。

スムージーやシャーベットに。

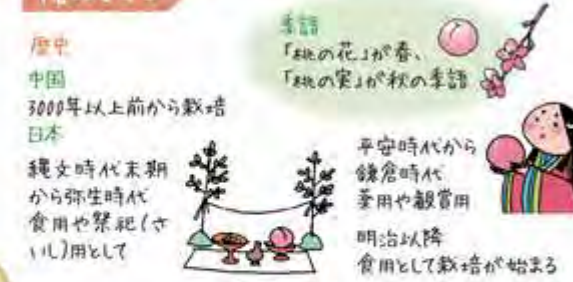
選び方



桃のいろいろ



桃のじみず



桃のチカラ



楽しみ方・食べ方のコツ



おひさまクラブ COOKING

♥おいしいもの大好き!♥

タケノコの香草焼き



◆ 材料 (1人分) ◆

タケノコ1/4本
(下ゆでして縦に4等分したもの)
フルーツマト1/2個
ズッキーニ1/8本
マッシュルーム1個
ホタルイカ (ホタテでも可)5尾
タイム2本
オリーブ油大さじ2
塩・こしょう適宜
パルメザンチーズ大さじ1

◆ 作り方 ◆

- ①タケノコは皮から外し、ズッキーニ、フルーツマトと共に大きめのさいの目に切る。マッシュルームは半分に、ホタルイカは目とくちばしを外しておく。
- ②ポウルに①の材料を入れ塩・こしょうし、オリーブ油とパルメザンチーズを入れ混ぜ合わせる。
- ③タケノコの皮に混ぜ合わせた材料とタイムのをせ、180度に熱したオーブンで7～8分焼き上げて出来上がり。

マコモタケとカキのそろみぞ焼き



◆ 材料 (1人分) ◆

マコモタケ1本
カキ5粒
そろみぞ大さじ1
料理酒適宜
塩少々
しょうゆ少々

◆ 作り方 ◆

- ①マコモタケは元の白い部分の堅い皮をピーラーでむき半分に割る。
- ②カキはよく水洗いし、熱湯で30秒ほどゆで、ざるにあげ水気をよく拭きポウルに入れ、そろみぞ、しょうゆとあえておく。
- ③180度のオーブンで、料理酒をかけ塩を振ったマコモタケを5～6分焼き、いったん取り出してカキのをせ、さらに3～4分焼き上げ出来上がり。

✿ 献立を監修した人 ✿ 茨城県笠間市にある「天晴 (旧キッチン晴人)」オーナーシェフ 永井 智一 (ながいともかず)

編集後記

- ・7月に入り、夏らしい暑さが続いています。今月下旬から各作物の収穫作業が始まり、組合員の皆さんは繁忙期を迎えることと思います。熱中症等に気をつけて水分補給やこまめな休養を取るようお願い致します。無理はキンモツですよ!
- ・今月号ではJAで取り組む農作業安全対策について紹介しています。その中の「安全な農作業に向けて」の冊子は、安全対策を行う上でとても有効であると考えています。忙しくなるこの時期ですが、今一度、身の回りの危険リスクの発見、回避に向けてご活用ください。(菊池 光祐)

JAきたみらい概要

(令和4年6月20日現在)

- ・組合員数(正) 1,611人
- ・組合員数(准) 5,838人
- ・組合員戸数(正) 903戸
- ・貯金 115,965百万円
- ・貸出金 17,386百万円
- ・出資金 4,866百万円